

人とのつながりを大切に、児童会・生徒会の活性化を図る

ねがい

〈目的〉

小中連携の第一歩は、お互いを知ることであると考え、これまで行ってきた教職員のみでの交流を児童・生徒にも広げることで、児童会・生徒会活動のより一層の活性化を図ろうと考えました。

〈内容〉

つながり

● 「うらしま子どもサミット」の開催

これまで、町内の保育所、幼稚園、小学校、中学校の校長・園長等で組織された「うらしま4長会」を核として、生徒指導や特別支援教育など担当レベルでの協議会が開催されてきました。

そこで、夏季休業中に、児童会役員・生徒会役員の交流の場として「うらしま子どもサミット」を開催しました。学校間の連携を図りながら取り組むことができるよう、小・中共通の目標として「あいさつができる児童生徒」を掲げ、具体的な取組について話し合いました。



【「うらしま子どもサミット」の様子】

＜うらしま子どもサミットで決定したこと＞

- ◆ 9月19～27日を小中合同の「あいさつ週間」として、学校ごとにあいさつ運動に取り組む。
- ◆ 期間中、中学校生徒会役員が小学校に出向き、小学生と共にあいさつ運動を行う。

また、次年度、小学生が安心して本校に入学し、リーダーとして活躍できるようにとの願いから、親睦の時間を設定し、中学生のリードのもと、楽しいひとときを過ごすこともできました。

● 小中合同あいさつ運動

詫間小学校の校門で、中学校生徒会役員が児童会役員と共にあいさつ運動を行いました

小学生の元気なあいさつに刺激を受けた中学生が、中学校に戻り、全校集会であいさつ運動の更なる活性化に向けて呼びかける場面も見られました。



【小学校でのあいさつ運動の様子】

〈成果〉

最初は緊張していた子どもたちも徐々に打ち解け、活発な意見交換ができるようになりました。小学生にとっては、中学生のリーダーシップが印象に残ったようです。

本年度は、学校行事との関係で半日のみの実施となりましたが、次年度は1日開催とし、“リーダー育成の場”として、より多くのつながりがもてる会にしたいと考えています。

高まり